

きずな

2008年12月11日

NO 724

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

1日、井原市議会12月定例会が開会しました。会期は19日までです。1日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行い、その中で市政の状況などを話しました。その内容は次のとおりです。

本市の予算編成については、国・県の予算が明らかでない現段階において、的確な財政見通しを立てることは極めて困難であります。歳入面では国・県支出金が抑制され、また、地方交付税についても概算要求における地方公共団体への交付額ベースで対前年度比3.9%減額となるなど、財源の確保は益々厳しくなるものと予測されるところであります。こうした財政環境の中にも、井原市第6次総合計画に掲げる将来都市像「美しい自然、息づく文化、笑顔でつながる人、元気発信都市いばら」の実現に向けて「夢・挑戦・選択・集中・参画・協働のまちづくり」の柱とし、市民の皆さまと行政が協働して安心して快適に暮らせるまちづくりに努めなくてはならないと考えております。

このため来年度の予算編成にあたりましては、従来にもまして歳出全体の徹底した洗い直しを行い、各経費間の優先順位の厳しい選択を行うことにより、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めてまいります。

市政の状況等は

家庭ごみの有料化

近年、社会経済の発展に伴い、ごみは質的に多様化すると共に、その排出量も増加し、ごみ処理が社会的な課題となっております。従来のごみ処理は、焼却や埋め立てを中心に、排出されたごみをいかに適正処理するかという点に重点を置いてきましたが、これからはごみの発生と排出をいかに抑制し、資源として活用するかという循環型社会形成の推進が強く求められております。

現在、井原クリーンセンターの焼却灰については、野々迫埋め立て処分場で埋め立て処分しておりますが、その約80%が埋め立てを完了しており、このまま埋め立てると平成24年度には満杯となりますので、新たに埋め立て処分場ができるまでの間は、焼却灰を外部の施設で処分することになります。また、岡山県の広域化ごみ処理計画では、井原クリーンセンターなどの焼却場について、平成31年度に井笠地区で一箇所



今年正月の休み明け集積所に入り切らないごみ

に集約することになっており、これらの施設を少しでも延命するためにもごみの減量化が必要不可欠であります。

本市では「井原市廃棄物減量等推進審議会」から家庭ごみの減量化や循環型社会の構築を目指すためには有料化がより有効な手段であり、やむおえないとの答申を頂いておりますと共に、国においても平成17年5月には、基本方針として一般廃棄物処理の有料化を推進することが市町村の役割として位置づけられたところであります。このような状況の中で、本市におきましてはごみ減量化の新たな施策として、平成21年7月から家庭ごみ有料化の手法を導入し、徹底した分別と減量に向けた啓発や施策を実施したいと考えております。家庭ごみ有料化によりまして、ごみの減量化と資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化、排出者としての責任が明確になることによる住民意識の向上及び有料化による収入の活用などの効果を見込んでおります。

市民の皆さまには、新たな負担を求めることとなりますが、ご理解ご協力をお願いいたしますと共に、本市議会での審議を賜ることといたしております。尚、ご決定をいただきましたら、市民皆さまへの説明会を予定しております。

2面へつづく

読者ニュース「きずな」に対するご意見や情報をしんぶん赤旗の配達・集金者にどしどしお寄せください。

協働のまちづくり市民推進室の開催

協働のまちづくり市民推進室につきましては、地域のさまざまな課題について、市民の皆さまと私が直接膝を交えて意見交換を行い、協働してより良いまちづくりを目指すことを目的に昨年度から開催しております。2年目となった本年度は、地域ごとのテーマを設定いただき、小学校区単位の13会場で開催予定ですが、現在11会場が終了したところです。地域から出されましたテーマの一端をご紹介しますと「魅力ある農業の産地化を目指してコミュニティーセンターを核としたまちづくり」「地域住民による災害に強い地域づくり」「高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくり」「河川環境の保全と有効活用」などです。

いずれの会場におきましても、終始熱心に意見の交換をいただきさまざまな提言もいただいたところです。今後とも地域特性を生かした個性豊かなまちづくりを進めるための役割分担や、地域課題解決に向けた協働のまちづくりを積極的に推進したいと考えています。

美星国保診療所及び特別養護老人ホーム「星の郷」の指定管理

去る11月1日に美星国保診療所と特別養護老人ホーム「星の郷」指定管理者であります社会福祉法人旭川荘から、医師の確保が困難となったことを理由に2年後の平成22年10月末をもって指定管理を辞退する旨の申し出がありました。

医師の確保をはじめ、地域医療を取り巻く厳しい環境の中でも医療、保健、福祉の充実が強く求められております。

こうした中、美星国保診療所は地域医療への貢献度が極めて高く、特別養護老人ホーム「星の郷」と共に地域に愛され親しまれており、地域に不可欠の施設になっております。

そこで、先月14日に、私と高田市議会議長が旭川荘を訪ね、両施設の運営継続に特段の配慮をお願いし、要望書を提出したところです。

今後とも全力をあげて地域医療の維持向上に邁進する覚悟であります。



美星国保診療所と星の郷

学校施設の耐震化

学校施設の耐震化については、優先度に基づき本年度10棟の耐震診断を実施し、その結果が出てきました。2棟については耐震性有り、残りの8棟については耐震性無しという判定でした。耐震性無しと判定されました校舎等については、早期に耐震設計を行うべく本市議会に補正予算をお願いしているところです。

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を学習しながら過ごす場所なので、鋭意耐震化に向けて取り組み、安全・安心な学校施設を目指したいと思っています。

鉄道井原線開業10周年

鉄道井原線は来年1月11日に開業10周年を迎えます。平成11年1月11日に開業以来1,100万人を超える皆さまに利用され、地域に密着した生活路線としての役割を果たしております。近年燃料費の高騰や少子化による通学客の減少など鉄道井原線を取り巻く環境は極めて厳しいものになってはいますが、本市といたしましては、岡山県をはじめ関係自治体と力を合わせ経営安定化に向け、これからも最大限の努力をしてみたいので市民の皆さまにも一層のご利用をお願いいたします。

尚、開業記念日の1月11日には井原駅前での記念式典やアトラクションをはじめ、恒例の「得得市」のほか、沿線各駅でもさまざまなイベントが予定されております。当日は、井原線全区間が1回100円で乗車できるワンコインデーになりますので、多くの皆さまにご利用いただければと考えております。